

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年1月23日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松尾 民男

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	74,495	14.0	1,592	72.0	2,153	64.1	1,311	64.4
24年3月期第3四半期	86,589	7.5	5,683	35.0	5,994	32.4	3,682	27.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,280百万円 ( 65.0%) 24年3月期第3四半期 3,658百万円 ( 28.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	59.05	
24年3月期第3四半期	165.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	64,423	41,415	64.3	1,864.37
24年3月期	70,328	41,023	58.3	1,846.72

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 41,415百万円 24年3月期 41,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		20.00		20.00	40.00
25年3月期		20.00			
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,600	11.7	3,200	51.2	4,000	43.9	2,400	46.0	108.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社バッファローコクヨサプライ  
(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	22,237,873 株	24年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	25年3月期3Q	23,816 株	24年3月期	23,677 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	22,214,146 株	24年3月期3Q	22,214,341 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州を中心とした海外経済の減速等、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、スマートフォン・タブレット端末の普及により、その周辺機器市場は拡大したものの、地デジ化移行特需の反動からテレビ関連市場は著しく縮小しました。また、パソコン周辺機器市場も、消費マインドの低迷により、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、国内市場でのシェア確保に尽力するとともに、成長著しいスマートフォン関連市場において、最新機種の発売に合わせて対応商品をいち早く市場に投入する等、成長市場での拡販に努めました。また、パソコンなしで撮影した写真を保存、テレビに表示できる「おもいでばこ」の機能向上等、新規市場の開拓に努めました。しかし、価格競争激化によるネットワーク製品の売上減少、テレビ録画関連需要の減少等により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を下回りました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は744億95百万円（前年比14.0%減）、営業利益15億92百万円（同72.0%減）、経常利益21億53百万円（同64.1%減）、四半期純利益13億11百万円（同64.4%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、パソコン用メモリモジュールの追加購入需要の減少が続きました。その結果、販売台数は前年同期比22.1%減少したものの、大容量化による販売価格の上昇により、売上高は前年同期比12.2%減の31億5百万円となりました。

フラッシュメモリ製品では、SD等メモリカード、USB3.0対応USBフラッシュの拡販に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で10.3%増加しましたが、販売価格の下落により、売上高は前年同期比18.1%減の54億84百万円となりました。

ストレージ製品では、最先端の高速インターフェイスであるUSB3.0対応に加え、独自の高速化ソフトウェアを添付した外付ハードディスクを発売する等、市場拡大に努めるとともに、高付加価値製品の拡販に注力しました。その結果、販売台数は前年同期比6.6%減少したものの、売上高は前年同期比1.8%増の275億8百万円となりました。

NAS（ネットワーク対応ハードディスク）製品では、法人向けNASのラインアップ強化に努め、拡大するストレージ需要に対するソリューション提案を強化しましたが、個人向け製品は市場が伸び悩み、販売台数は前年同期比で20.0%減少し、売上高は前年同期比6.3%減の89億43百万円となりました。

ネットワーク製品では、無線LANに接続することで、スマートフォンでインターネットを快適に楽しむ提案を積極的に進め、市場拡大に努めました。また業界で初めて、PLC（電力線通信）を搭載した無線LANルーターを発売する等、ラインアップ拡充にも注力しました。しかし、市場の伸び悩みと価格下落により、販売台数は前年同期比で5.6%減少し、売上高は前年同期比19.4%減の157億11百万円となりました。

デジタルホーム製品では、アナログテレビ用地上デジタルチューナー、レコーダーの需要が大幅に減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で85.4%減少し、売上高は前年同期比83.5%減の10億51百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、新機種の発売に合わせてタイムリーに新製品を出荷する等、スマートフォン・タブレット端末向け製品の拡販に努めました。その結果、スマートフォン・タブレット端末向け製品は伸張しましたが、パソコン及びテレビ向けの製品が減少したため、販売台数は前年同期比で0.5%増加したものの、売上高は前年同期比4.7%減の79億49百万円となりました。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成24年3月期 (第3四半期連結累計期間)		平成25年3月期 (第3四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	3,536	4.1	3,105	4.2	△12.2
フラッシュメモリ	6,693	7.7	5,484	7.4	△18.1
ストレージ	27,018	31.3	27,508	36.9	1.8
NAS	9,549	11.0	8,943	12.0	△6.3
ネットワーク	19,491	22.5	15,711	21.1	△19.4
デジタルホーム	6,354	7.3	1,051	1.4	△83.5
サプライ・アクセサリ	8,344	9.6	7,949	10.7	△4.7
DOS/Vパーツ	3,463	4.0	3,112	4.2	△10.1
サービス	1,561	1.8	1,214	1.6	△22.2
その他	575	0.7	418	0.5	△27.3
合計	86,589	100.0	74,495	100.0	△14.0

海外事業については、当社グループの最重要課題として推進しました。欧州の販売は債務危機による景気減速の影響から引き続き厳しい状況であるものの、アジア・オセアニア及び北米・中南米における販路開拓・拡販が奏功し、売上高は前年同期比で8.1%増加しました。2012年12月には、「エアステーション(11ac技術採用無線LAN)」と「ミニステーション(Thunderbolt™&USB3.0対応ポータブルハードディスク)」が、国際的に権威のあるデザイン賞「iFプロダクトデザイン賞2013」を受賞する等、ブランド力向上への取り組みも評価されました。

[海外売上高]

	平成24年3月期 (第3四半期連結累計期間)		平成25年3月期 (第3四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	5,372	41.9	6,735	48.6	25.4
北米・中南米	2,121	16.5	3,076	22.2	45.0
欧州	5,333	41.6	4,053	29.2	△24.0
合計	12,827	100.0	13,864	100.0	8.1

※Thunderbolt™は、米国およびその他の国におけるIntelCorporationの商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は644億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億4百万円減少しました。流動資産は587億94百万円となり61億72百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少11億63百万円、受取手形及び売掛金の減少65億47百万円、商品及び製品の増加18億40百万円によるものです。固定資産は56億28百万円となり2億68百万円増加しました。

負債合計は230億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億96百万円減少しました。流動負債は201億42百万円となり、62億60百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少45億7百万円、その他流動負債(預かり源泉所得税他)の減少12億75百万円によるものです。固定負債は28億66百万円となり、36百万円減少しました。

純資産合計は414億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億91百万円増加しました。これは主に、四半期純利益13億11百万円の獲得と配当金の支払8億88百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月22日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました株式会社バッファローコクヨサプライは、平成24年4月1日に連結子会社であります株式会社バッファローに吸収合併されました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,952	7,789
受取手形及び売掛金	24,896	18,349
有価証券	20,000	20,135
商品及び製品	4,693	6,533
原材料及び貯蔵品	3,969	4,332
繰延税金資産	540	249
その他	1,940	1,405
貸倒引当金	△25	△0
流動資産合計	64,967	58,794
固定資産		
有形固定資産	872	792
無形固定資産	1,492	1,091
投資その他の資産		
投資有価証券	2,386	3,188
その他	625	573
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,995	3,744
固定資産合計	5,360	5,628
資産合計	70,328	64,423
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,386	14,879
未払法人税等	352	63
未払金	2,732	2,558
役員賞与引当金	25	6
製品保証引当金	136	143
その他	3,767	2,491
流動負債合計	26,402	20,142
固定負債		
繰延税金負債	1,186	1,247
退職給付引当金	998	950
役員退職慰労引当金	520	471
リサイクル費用引当金	157	156
その他	39	40
固定負債合計	2,902	2,866
負債合計	29,304	23,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	39,548	39,971
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,262	41,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	115
繰延ヘッジ損益	2	△9
為替換算調整勘定	△354	△376
その他の包括利益累計額合計	△239	△270
純資産合計	41,023	41,415
負債純資産合計	70,328	64,423



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	86,589	74,495
売上原価	67,567	60,763
売上総利益	19,021	13,731
販売費及び一般管理費	13,338	12,139
営業利益	5,683	1,592
営業外収益		
受取利息	39	89
受取配当金	189	403
有価証券売却益	32	36
デリバティブ評価益	1	0
持分法による投資利益	—	10
貸倒引当金戻入額	14	21
訴訟損失引当金戻入額	40	—
その他	46	58
営業外収益合計	363	620
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	27	21
減価償却費	4	20
有価証券売却損	0	—
持分法による投資損失	0	—
その他	20	17
営業外費用合計	52	59
経常利益	5,994	2,153
特別利益		
固定資産売却益	2	—
事業再構築引当金戻入額	7	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	13
投資有価証券評価損	—	2
特別損失合計	7	16
税金等調整前四半期純利益	5,996	2,136
法人税、住民税及び事業税	2,033	412
法人税等調整額	254	412
法人税等合計	2,288	824
少数株主損益調整前四半期純利益	3,708	1,311
少数株主利益	26	—
四半期純利益	3,682	1,311

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,708	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	2
繰延ヘッジ損益	△4	△11
為替換算調整勘定	△48	△22
その他の包括利益合計	△49	△31
四半期包括利益	3,658	1,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,632	1,280
少数株主に係る四半期包括利益	26	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	77,791	1,363	5,331	2,103	86,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,299	3,270	9	36	10,615
計	85,091	4,633	5,340	2,139	97,205
セグメント利益又は損失(△)	5,815	12	△22	△235	5,570

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,570
セグメント間取引消去	113
四半期連結損益計算書の営業利益	5,683

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	北米・中南米	
売上高					
外部顧客への売上高	65,786	1,707	4,053	2,948	74,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,979	2,966	1	144	11,092
計	73,765	4,674	4,054	3,093	85,587
セグメント利益又は損失(△)	1,677	△80	△241	41	1,397

(注) 当第3四半期連結会計期間より、従来の「米国」について、「北米・中南米」へ名称を変更いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,397
セグメント間取引消去	194
四半期連結損益計算書の営業利益	1,592